

研修事例

受託研究

支援先

県内製陶業等

陶磁器用釉薬に関する研修

【内 容】

笠間焼のそれぞれの製陶所や工房のなかで、陶芸技法や生産技術を継承するための教育・指導は、日々行われています。しかし、釉薬の理論に関する教育や指導ができる環境まで整っている製陶所や工房は少ないと思われます。そこで、当センターでは基礎知識習得や、研究開発力・課題解決力の強化を目指した釉薬研修を実施しています。

【研修内容】

基礎知識習得が主目的の「レディメイドコース」と、研究開発力などの強化までを見据えた「オーダーメイドコース」の2つの研修を実施しています。

表 1 釉薬研修コースの概要

コース名	目 的	期間（日数）	内 容
レディメイドコース	・ 釉薬基礎知識の習得	6 月上旬～7 月末 （約 40 日）	・ 講義 ・ 指定課題実習
オーダーメイドコース	・ 釉薬開発手法の習得 ・ 新規釉薬の開発 ・ 既存釉薬の改良 など	受講者と調整	・ 目的に応じた 個別課題実習

【研修結果】

(1) レディメイドコース

- ・ 講義：基礎的な理論などに関する座学
- ・ 指定課題実習：三角座標、ゼーゲル座標などの基本的な釉薬試験方法による試験片作製と考察
- ・ 期間：6 月 1 日～7 月 31 日（うち 42 日間）
- ・ 受講者：3 名

(2) オーダーメイドコース

- ・ テーマ：辰砂釉の開発
- ・ 目的：釉薬開発手法の習得、新規釉薬開発
- ・ 期間：9 月 1 日～2 月 28 日（うち 70 日程度）
- ・ 個別課題実習：平成 30 年度中に新商品の販売開始を目標に、辰砂釉の原料配合比や焼成条件などを検討
- ・ 受講者：1 名

平成 28 年度のオーダーメイドコースの研修で、「マット釉の開発」に取り組んだ受講者は、研修中に得られた釉薬をベースに試験を重ねて新商品を開発し、陶炎祭などのイベントで販売を開始するなど、研修の効果を発揮しています。



図 1 レディメイドコース釉薬試験片

基礎となった事業

平成 29 年度 オンリーワン技術開発支援事業（受託研究）

現在の担当部門

工芸・材料技術部門 部 門 長 寺門 秀人 TEL:0296-72-0316
主任研究員 吉田 博和